

化学物質安全データシート

製造者情報 会社名 ダイアプラスフィルム株式会社
住所 愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2
担当部門 管理部 品質保証グループ (養老工場)
電話番号 (0584)32-3577 : FAX(0584)34-3641
緊急連絡先 同上
電話番号 同上

作成・改定 平成26年 4月 1日

製品名(化学名・商品名等)

DRコートS

組成及び成分情報 単位物質・混合物の区別 : 混合物
化学名 : EVA樹脂系エマルジョンペイント
成分および含有量 :

成分名	CAS No.	含有量(%)	化審法番号
酸化チタン	13463-67-7	0.3~1.0	1-558
三酸化クロム	1308-38-9	0~1.0	5-3315
フタロシアニンブルー	1328-53-6	0~0.1	5-3315
酸化鉄	20344-49-4	0.1~2.0	1-357
カーボンブラック	1333-86-4	0~0.1	対象外
アノモア	7664-41-7	0.1~0.2	1-391
エチレングリコール	107-21-1	0.5~1.5	2-230

危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない

応急処置

- 目に入った場合 : 清浄な水で15分以上洗眼した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸入して気分が悪くなった場合には、直ちに新鮮な空気の場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

火災時の措置

- 消火方法 : 燃焼の際は、燃焼源を立ち、消化剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。
消火は風上より行い、場合によっては呼吸用保護具を着用する。
-

漏出時の措置

- 流路を毛布、土壌等でせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、少量流出の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。
作業の際、長靴、手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
河川、湖沼へ流入した場合は、必要に応じ、消防署、都道府縣市町村の公害関連部署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。
-

取り扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 取扱いは、換気の良い所で行う。
目、皮膚への接触を防止するため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。
スプレーミストや蒸気を発生する作業の場合は局所排気装置を設置するか、フィルターつきの保護マスクを着用する。
保 管 : 凍結、直射日光を避け屋内で保管する。
保管時の温度は、5℃以下及び40℃以上にならないようにする。
-

暴露防止及び保護措置

- 管理温度 : 設定されていない
許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 設定されていない
ACGIH : 設定されていない
設備対策 : 状況に応じ局所排気装置等を設置する。
保護具 : 呼吸用保護具 : 着用する
保護眼鏡 : 着用する
保護手袋 : 着用する
保護衣 : 着用する
-

物理及び化学的性質

- 外観等 : ペースト状
揮発性 : なし
溶解度 : 水で希釈可能

安定性及び反応性

引火点 : なし
発火性 : なし
自己反応性、爆発性 : なし
安定性・反応性 : 通常の条件では安定

有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度規準				
物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)	IARC	その他の有害性
酸化チタン		10 mg/m ³	3	
酸化クロム		0.5 (Cr) mg/m ³	3	
エチレングリコール		100 mg/m ³		LD50 (経口) rat4700 mg/kg LD50 (経皮) rb9530 mg/kg

製品に関する有害性情報：製品としての安全試験は行なっていない

環境影響情報

分解性：知見なし
蓄積性：知見なし
魚毒性：知見なし

廃棄上の注意

- ・廃棄は焼却により行う。
 - ・産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。また、廃棄物については、廃棄物処理法の定めるところに従う。
-

輸送上の注意

運搬に際しては、容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

適用法令

労働安全衛生法：通知対象物（酸化チタン、酸化鉄、カーボンブラック、クロム及びその化合物、銅及びその化合物、エチレングリコール、アンモニア）
PRTR 法：エチレングリコール（第1種No.43）、3価クロム化合物（第1種No.68）

その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常の手扱いを対象にしたものであって、特別な手扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は、情報提供であって、保証するものではありません。

参考資料： (社)日本塗料工業会編「原材料物質データベース」
溶剤ポケットブック
危険防災救急便覧
国連化学物質ガイド (ICSC)